



## H.248 終端ワイルドカード化の拡張

H.248 終端ワイルドカード化で、一部ワイルドカード化された終端名がサポートされるようになりました。したがって、ワイルドカード文字 (\*) を使用することによって、1 つのコマンドで終端名の要素を 1 つまたは複数置き換えることができます。

メディア ゲートウェイ コントローラ (MGC) は、9 ティア終端名ハイラーキの任意のレベルでワイルドカード化を行って、H.248 コマンドを発行できます。詳細については、「[9 ティア終端名ハイラーキ](#)」モジュールを参照してください。次のワイルドカード化終端名が有効です。

```
cisco/sip/*/0/1023/0/*/*/*  
cisco/sip/*/0/1023/0/4094/*/*  
*/*/*/0/1023/0/*/*/*
```

### H.248 終端ワイルドカード化の拡張の機能履歴

リリース	変更内容
リリース 3.5.0	このコマンドは Cisco CRS-1 に初めて追加されました。

## 内容

このモジュールの構成は次のとおりです。

- 「[H.248 終端ワイルドカード化の拡張に関する制約事項](#)」(P.SBC-373)
- 「[H.248 終端ワイルドカード化の拡張に関する情報](#)」(P.SBC-374)
- 「[その他の関連資料](#)」(P.SBC-375)

## H.248 終端ワイルドカード化の拡張に関する制約事項

ワイルドカード化した終端を使用できるのは、次の表に示す場合に限られます。それ以外の場合はすべて、Data Border Element (DBE) によって拒否されます。

コマンド	コンテキスト ID
<b>subtract</b>	特定
<b>w-subtract</b> (空の audit 記述子を指定)	すべて (*)
<b>auditvalue</b>	特定
<b>auditvalue</b>	すべて (*)

コマンド	コンテキスト ID
<b>modify</b> ( <i>ServiceState</i> 限定)	特定
<b>w-modify</b> ( <i>ServiceState</i> 限定)	すべて (*)

次の規則が適用されます。

- ワイルドカード化された終端名をサポートする H.248 コマンドは、**auditvalue**、**modify** (**servicestate** 限定)、および **subtract** コマンドに限定されます。終端 ID とコンテキスト ID の両方をワイルドカード化する場合は、**modify** および **subtract** コマンドに空の **audit** 記述子を組み込み、ワイルドカード化された応答を要求する必要があります。
- DBE は、終端 ID の要素からどのような意味も抽出しません。
- 最後の要素に限り、CHOOSE (\$) 属性を含めることができます。
- マルチティアプレフィックスの深度を一致させる必要があります。
- w-subtract** コマンドおよび **w-modify** コマンドは、ワイルドカード化された応答を要求します。
- 終端名の 1 つまたは複数のティアを省略した部分ワイルドカードは、サポートされません。

#### サポートされないワイルドカード化の例

name/sip/\*

#### 正しいワイルドカードの例

name/sip/\*\*/\*\*/\*\*/\*\*/\*\*

#### 例外

全面的ワイルドカード：

\*

## H.248 終端ワイルドカード化の拡張に関する情報

重複する **subtract** および **auditvalue** ワイルドカード化コマンドを使用してトランザクションを作成できます (両方を混在させることはできません)。1 つのトランザクションに複数のコマンドが含まれていて、同じ終端を参照する場合、コマンドは順番に動作します。しかし、終端を取り除く場合は、その終端に影響を与える他のコマンドはすべて無視されます。

たとえば、メディア ゲートウェイ (MG) の終端が a/b/1 の 1 つだけであるとします。次に、重複するワイルドカード化されたコマンドと戻り値の例を示します。

- audit value a/\*\*, audit value \*/b/\*** は、応答で a/b/1 を 2 回返します。
- modify a/\*\*, modify \*/b/\*** は、終端 a/b/1 を変更します。2 番目の **modify** によって最初のコマンドが上書きされ、両方のコマンドに対して成功の応答が返されます。
- subtract a/\*\*, subtract \*/b/\*** は、a/b/1 を最初のコマンドで取り除きます。2 番目の **subtract** コマンドは無視されます。
- subtract a/\*\*, modify \*/b/\*** は、終端 a/b/1 を取り除きます。**modify** コマンドは無視されます。
- modify a/\*\*, subtract \*/b/\*** は、終端 a/b/1 を変更し、**subtract** によって a/b/1 が取り除かれて、両方のコマンドに対して成功の応答が返されます。

このような状況でワイルドカード化されたコマンドが無視された場合、そのコマンドに対する応答は 431 - No Termination ID matched a wildcard となります。

非ワイルドカード化コマンドが無視された場合、応答は 430 - Unknown Termination ID となります。  
マルチコマンド トランザクションで、H.248v3 に準拠している場合、最初のコマンドが作用したコン  
テキストだけがその後のコマンドを受け付けます。



(注) DBE 上での設定は不要です。

## その他の関連資料

次の各項では、H.248 終端ワイルドカード化の拡張に関連する参考資料を示します。

### 関連資料

関連項目	マニュアル タイトル
Cisco IOS XR マスター コマンド リファレンス	『Cisco IOS XR Master Commands List』
Cisco IOS XR SBC インターフェイス コンフィギュレーション コマンド	『Cisco IOS XR Session Border Controller Command Reference』
Cisco IOS XR ソフトウェアを使用するルータを初回に起動し設定するための情報	『Cisco IOS XR Getting Started Guide』
Cisco IOS XR コマンド モード	『Cisco IOS XR Command Mode Reference』

### 標準

標準	タイトル
H.248	『Media Gateway Control (Megaco) Protocol Standard』

### MIB

MIB	MIB のリンク
—	Cisco IOS XR ソフトウェアを使用して MIB の場所を特定してダウンロードするには、次の URL にある Cisco MIB Locator を使用して、[Cisco Access Products] メニューからプラットフォームを選択します。 <a href="http://cisco.com/public/sw-center/netmgmt/cmtk/mibs.shtml">http://cisco.com/public/sw-center/netmgmt/cmtk/mibs.shtml</a>

## シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
シスコのテクニカル サポート Web サイトでは、製品、テクノロジー、ソリューション、技術的なヒント、およびツールへのリンクなどの、数千ページに及ぶ技術情報が検索可能です。Cisco.com に登録済みのユーザは、このページから詳細情報にアクセスできます。	<a href="http://www.cisco.com/en/US/support/index.html">http://www.cisco.com/en/US/support/index.html</a>